

さぬき

第 18 号

2008年 7月 1日発行

発行者

社会福祉法人 弘善会
児童養護施設 讃岐学園



未来をつかったひと・未来をつくるひと

75歳以上の高齢者、いわば「未来をつかったひと」の医療保険について議論がなされています。高齢者の方々は現役時代に、保険料を負担するなどをして「国民皆保険制度」を確立・維持してきた功労者です。格差社会とかいろいろいわれていますが、私たちが毎日生活できるのは、高齢者の方々のたゆまない努力の結晶です。

一方、「未来をつくるひと」、「子どもたち」の様子はどうでしょうか。

子どもたちは、おとなとの「つながり」を求めています。おとなの「養育機能」が格段に弱くなったため、子どもとおとなの「つながり」ができなくなっています。その結果、おとなとともに暮らす「心地よさ」を経験できない子どもが増えています。

心地よさを体験できない子どもがこれから築く未来は、どんな未来になるのでしょうか。

私たちの社会は、「未来をつかったひと」に報いることなく、「未来をつくるひと」に心地よさを味わせられないのでしょうか。

讃岐学園では、「おもいやりのある心地よい」未来をつくるため、子どもたちと職員が生活しています。

園長 土釜 一

専長 家庭支援専門相談員 斎藤 繪代
 一つにも増して懐しい年度末を通し、気がつけば早や四月、児童学校の児童・職員揃っての恒例の池戸神社の花見遠足を終え、ようやく新年度がスタートした事を実感しているところです。



昨年年度には、四名の児童が家庭に引き取られ、「一名の児童が養育里親宅へ措置変更になりました。持ち上げに「さよなら」と手を振る子どもの姿に、入所当初の小さかった頃からの思い出が次々と浮かび、別れの寂しさと、それ以上にこれからの幸せを願う、胸が熱くなりました。そして、これでハッピーエンドというわけではありません。心ならずも離れて暮らしていた時間は、新たな生活を始めた親子の距離を縮め、本来の家族の姿を取り戻させる事が出来るでしょうか。今年度一年間アプターケアと言って、家庭での定着状況の確認、養育指導も私の役割のひとつです。これからの生活に期待を持って施設を去った親子の笑顔が枯れる事のない様、お手伝いしてきたいと思います。

また、昨年度は、家庭支援の役割を通して保護者の方と沢山話しをさせてもらいました。その中で、保護者の方の痛みにも触れ、また自立に何が必要か考えあわせてきたつもりでした。でも子どもにしてあげれば十八歳という若さで一人社会へ出て行くこと不安があり、どの子どももかかる施設生活への理解もあり、複雑な思いが悪い意味での甘えとなって出てきました。とにかく大変だった記憶がないのですが、振り返ってみると私自身、自立支援を自立訓練と捉えてしまっていたのではないかと反省もしています。子ども達の成長を支えていくことが大切だと理解して、実践とお互いにシンプルに行きません。結局職員は子どもを叱ることが多く、お互いにストレスを感じてしまっています。もうとゆとゆを持って聞きたいなと思います。

今年度も、子どもたちが自分の中でいろいろな葛藤を抱えながら、できるだけ落ち着いた生活を送れるよう、努力して行きたいと思っています。

習の時間です。一人暮らしを始めれば自炊は欠かせませんが、自炊をするためには覚えておかなければいけないことがたくさんあります。小学生担当主任 六車 由佳

昨年年度は、個別対応職員として主に子ども間の問題行動や、子ども間のトラブルを中心に関わってまいりました。問題行動やトラブルを起こしてしまったりもしたものの中心では、共通して自分でどうするかという意識が、「お節介りやうさぎ好きのおばちゃん、ここに健在」をアピールして、「ちよっとは、役に立つな」程度にでも保護者の方に信頼を寄せてもらえる事を目標に、今年も頑張ります。

中高生担当主任 野瀬 由華

「早寝・早起き・朝ごはん」これだけは、子供の生活リズムを整えるために大切なことだと感じています。小学校の先生たちからも褒められる言葉をいただき、子どもの顔も輝いています。私たち職員以外の方から褒めてもらえることは何よりも喜びが大きいと思います。規則正しい生活は、時には苦痛だったり不満の種だったりしますが、子どもたちの成長過程においてとても大事なことだと思っています。以前に比べると、寝つきがよく十分な睡眠が取れるようになってきたと感じます。一人ひとりが安心して眠りにつくれるように、素敵な夢が見れるように今後も本気の取り組みや取り組みをしていきたいと思っています。昨年年度はさまざまな地域行事に参加しました。『研究ついでに参加する』という声がかはらと聞こえてきました。また、初めて参加した引継ぎ大会では、ルールも知らない子どもたちでしたが、みんな力を合わせて、順調に進むことが出来ました。「みんなやれば結構できるもんやな」「かけ声がよかったな」などといった声が聞かれました。協力するといった大切さを学ぶことも、やれば出来るんだという自信がもてたことだと思います。自分のやりたこと、自分で決めた声がかはらと聞こえてきました。常に向上心を持って共に自己肯定感を持ってもらいたいと思っています。ゲームばかりでなく、

外に出て体を動かして遊び、自然に触れ、工夫したり協力したり、譲り合ったり遊ばない言葉があります。「俺は生まれこなればよかつた。生まれこなれば、こんつらい思いをしなくよかつたねばよかつた。私は石にならば、とやうな子どももいます。計り知れないほどの寂しさと不安を抱えているのです。もやもやが積れてすっきりする自分まで大切に生きてもらいたいと願うばかりです。そんな子どもたちが「大きくなったら○○になりたい」という夢が語れるようになったとき、少しづつとします。

中高生担当主任 野瀬 由華

の子どもたちと頑張ろうと力をもらっています。高校生からは「先生たちが居たんか、もう、うっとうしいけん早よ帰れよ」「先生たちが居るけん、甘えてしまらんやん、」などと言われていますが、その言葉の裏には、照れと労いがあると感じ、これらもまた慰められたり笑ったり、本気で怒ったりと心の繋がりを求めて、更に奮闘をも楽しんで職員も共に成長していきたいです。

昨年年度は、個別対応職員として主に子ども間の問題行動や、子ども間のトラブルを中心に関わってまいりました。問題行動やトラブルを起こしてしまったりもしたものの中心では、共通して自分でどうするかという意識が、「お節介りやうさぎ好きのおばちゃん、ここに健在」をアピールして、「ちよっとは、役に立つな」程度にでも保護者の方に信頼を寄せてもらえる事を目標に、今年も頑張ります。

中高生担当主任 野瀬 由華

の子どもたちと頑張ろうと力をもらっています。高校生からは「先生たちが居たんか、もう、うっとうしいけん早よ帰れよ」「先生たちが居るけん、甘えてしまらんやん、」などと言われていますが、その言葉の裏には、照れと労いがあると感じ、これらもまた慰められたり笑ったり、本気で怒ったりと心の繋がりを求めて、更に奮闘をも楽しんで職員も共に成長していきたいです。

昨年年度は、個別対応職員として主に子ども間の問題行動や、子ども間のトラブルを中心に関わってまいりました。問題行動やトラブルを起こしてしまったりもしたものの中心では、共通して自分でどうするかという意識が、「お節介りやうさぎ好きのおばちゃん、ここに健在」をアピールして、「ちよっとは、役に立つな」程度にでも保護者の方に信頼を寄せてもらえる事を目標に、今年も頑張ります。

中高生担当主任 野瀬 由華

の子どもたちと頑張ろうと力をもらっています。高校生からは「先生たちが居たんか、もう、うっとうしいけん早よ帰れよ」「先生たちが居るけん、甘えてしまらんやん、」などと言われていますが、その言葉の裏には、照れと労いがあると感じ、これらもまた慰められたり笑ったり、本気で怒ったりと心の繋がりを求めて、更に奮闘をも楽しんで職員も共に成長していきたいです。

昨年年度は、個別対応職員として主に子ども間の問題行動や、子ども間のトラブルを中心に関わってまいりました。問題行動やトラブルを起こしてしまったりもしたものの中心では、共通して自分でどうするかという意識が、「お節介りやうさぎ好きのおばちゃん、ここに健在」をアピールして、「ちよっとは、役に立つな」程度にでも保護者の方に信頼を寄せてもらえる事を目標に、今年も頑張ります。

中高生担当主任 野瀬 由華

の子どもたちと頑張ろうと力をもらっています。高校生からは「先生たちが居たんか、もう、うっとうしいけん早よ帰れよ」「先生たちが居るけん、甘えてしまらんやん、」などと言われていますが、その言葉の裏には、照れと労いがあると感じ、これらもまた慰められたり笑ったり、本気で怒ったりと心の繋がりを求めて、更に奮闘をも楽しんで職員も共に成長していきたいです。

募集中!! 週末ファミリーさん
 親の入院や就労等の理由で、週末帰省の出来ない子ども達が居ます。
 子ども達を月1回程度外出や外泊等で受け入れて下さる方を求めています。
 興味のある方、話だけでも聞いてみたい方、気軽に下記に問い合わせ下さい。
 087-847-5171
 担当 藤田(事務長)または斎藤まで

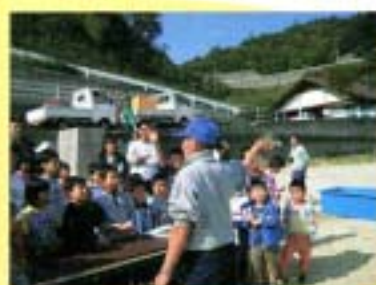
この1年こんなことがありました



夏休みに旅行に行きました。



ドッジボール大会に参加しました。



みんなで地引き網をひっぱりました。



卒園生の大森さんが来園され一日を過ごしました。



綱引き大会に参加しました。



スポレク祭、好記録が続出していました。



クリスマス会でたくさん
のプレゼントをいただきました。



厳かに卒園式が行われました。

多くの方々のご厚志に深く感謝いたします。

順不同・敬称略

<招待>四国海事広報協会、イーグレックス興業、フットマト、エス、ポプテカス、USEN、香川オーブ好侍ーズ、西日本高速道路、四国新聞社、ザポルトホール高松

<顧問>仲南町日赤奉仕団、打越謙司

<寄付>フジテレビ河、ソニー、松本茂、徳田恒光、東光学園、高橋園光、旭商工、柴田廣子、黒川商店、松成一市、岩崎和義、田中隆男、日向敬子、白井秀昭、池田宗弘、横井博子、岡野朱里子、大場裕一、三菱東京UFJ銀行、神原博、日本餅餅協会、六車政武、新生銀行高松支店、平井一也、平井寿子、小山ハツ子、四国新聞社、吉田孝平、広瀬石油、造造船鉄工所、小川五つ、豆芳、香西良人、門司一徹、湊和親、はびや製菓所、岡部龍、古市慎、小山良造、ニッコー高松中央店、マデック、花樹海、エースプロ、バシコホームズ、バーラスターンレバー、バーナクイスター、KMTコーポレーション、佐立好江、橋本せつ、少林寺奉法蓮聖、入船習油醸成場、歴原謙彦、SBIホールディングス、日本野鳥の会、香川大学付属篤病院内郵便局、東新電機、NYエデュケーションズ、マリン高松店、おきあひ会、ミール、香西政雄、はらわは、漆原都子、藤谷自動車、香川露店商業協同組合、安藤宏子、江島忠夫、公文研究所、久米加石油、ブックオフイズ、カーブス松岡、高田隆寛、おゆの福、寛成文彦、マンダ、内海産業、福井佳子、大建アミーズスト、エスピーエ、出光興産、住谷幸江、児童健全育成推進財団、サンフロー、イーグレックス興業、日本システムサービス、真央グループ、本藤貴則、三好智之、三友、猪崎武典、ヒッポポテイクス、柴川佳生、山田信生、サニゲーン四国、ジャシエンター、ドヤ、市村裕子、森江大蔵、TresureOne、ワールドメイト、アペビ、遊美堂、真木正子、水口英昭

<小規模グループ施設整備補助>日本自転車振興会補助事業

貸借対照表

平成20年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	32,666,270	流動負債	6,033,666
現金預金	29,543,696	短期借入金	0
その他の現金預金	0	その他の借入金	0
有価証券	0	未払金	5,134,646
未収金	1,722,205	施設整備等未払金	0
未払補助金	0	預り金	899,020
貯蓄品	0	借入金	0
立替金	11,600	借入金	0
前払金	1,388,769	その他の引当金	0
短期貸付金	0	その他の流動負債	0
固定資産	0	固定負債	10,115,579
その他の固定資産	0	設備資金借入金	7,000,000
固定負債	627,068,930	長期借入金	0
基本財産(固定資産)	578,895,581	退職給付引当金	3,115,579
建物	242,807,981	その他の固定負債	0
土地	336,087,600	その他の引当金	0
基本財産特定資産	0	負債の部合計	16,149,245
その他の固定資産	48,117,949		
建物	862,026	純資産の部	
構築物	0	基本金	324,686,000
機械及び装置	0	国庫補助金等特別積立金	164,174,368
車両運搬具	1,820,584	その他の積立金	37,914,000
器具及び備品	4,461,160	次期繰越活動収支差額	116,811,587
土地	0	次期繰越活動収支差額	116,811,587
建物	0	(うち:国庫補助金等特別積立金)	6,315,692
構築物	0	純資産の部合計	643,585,955
投資有価証券	0		
長期貸付金	0		
公益事業会計入金	0		
収支事業会計入金	0		
国庫補助金等特別積立金	0		
その他の積立金	37,914,000		
その他の固定資産	3,115,579		
資産の部合計	659,735,200	負債及び純資産の部合計	659,735,200

平成19年度決算報告書

自平成19年4月1日 至平成20年3月31日 (単位:円)

事業活動収支報告書

介護保険収入	0
利用料収入	65500
雑収入	175,007,020
運営費収入	0
私的契約利用料収入	0
経営経費補助金収入	1,264,030
寄付金収入	5,614,735
雑収入	4,312,788
借入金元金償還補助金収入	0
引当金戻入収入	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	8,997,046
事業活動収入計(1)	195,261,119
人件費支出	126,770,064
事務費支出	19,133,836
事業費支出	45,837,782
減価償却費	14,244,472
徴収不能額	0
引当金繰入	722,119
事業活動支出計(2)	206,708,273
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	-11,447,154
借入金利息補助金収入	362,000
受取利息配当金収入	139,476
合計単位間繰入金収入	0
経理区分間繰入金収入	34,593,326
投資有価証券売却益	0
有価証券売却益	0
事業活動外収入計(4)	34,593,326
借入金利息支出	467,250
経理区分間繰入金支出	16,363,224
投資有価証券売却損	0
有価証券売却損	0
資産評価損	0
雑損失	0
事業活動外支出計(5)	16,830,474
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	17,762,852
經常収支差額(7)=(3)+(6)	6,315,692
施設整備等補助金収入	1,900,000
施設整備等寄付金収入	0
固定資産売却収入	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0
その他の特別収入	0
特別収入計(8)	1,900,000
基本金組入額	0
国庫補助金等特別積立金積立額	1,900,000
固定資産売却・処分損	6
その他の特別損失	0
特別支出計(9)	1,900,000
特別収支差額(10)=(8)-(9)	-6
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	6,315,692
前期繰越活動収支差額(12)	101,109,895
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	107,425,587
基本金取崩額(14)	0
基本金組入額(15)	0
その他の積立金取崩額(16)	9,386,000
その他の積立金積立額(17)	0
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)+(17)	116,811,587

今年新しく学園にきた職員です



はじめまして。この度幼児寮にて働くことになりました鞠子大輔(まりこだいすけ)です。今まででも子どもとかかわる仕事をしてきて、今回さぬき学園で働かせてもらえることに本当に感謝しています。毎日のかかわりの中で自分が出来る事が何なのかを考え、自分自身も子どもたちと共に成長していけたらと思います。まだまだ分からないことも沢山あると思いますのでどうぞよろしくお願ひします。

子どもたちや保護者の方から要望・苦情がありました

讃岐学園では学園生活をよりよくするため苦情解決制度を活用しています。直接口頭で職員に伝えたり、学園外の方に伝えたりできるようにしているとともに、苦情箱を寮玄関、食堂に設置して随時対応できるようにしています。今年度は8件の要望・苦情がありました。

○児童(女子)より男性職員の言動が悪い。男性職員と相談中に性的発言があったとの訴えがありました。
→自分をかまってもらおうための申し出と分かり、職員との関わり、悩み、相談事について日常生活の中で一緒に考えながら話し合っていくことにしました。

○児童(男子)より他児からのいじめについてみんなで考えたいとの訴えがありました。
→話し合いの場で、児童といじめ、暴力について話し合い、お互いがいじめなどをしないことを確認しました。

○児童(女子)より他児から暴力をふるわれる。止めさせて欲しいとの訴えがありました。
→児童と個別に話し合いました。暴力について一緒に考えながら、暴力に訴えることなく我慢し、お互いが納得するまで話し合い、トラブルになりそうときは、職員に相談・連絡することを徹底するようにしました。

○児童(男子)より食事の味付けをかえて欲しいと訴えがありました。
→栄養、健康に影響のない限り、要望に沿うようにしました。

○児童(男子,女子 各1名)より他児の生活態度について(さわがしい。就寝しない。いやがらせなど)を改善して欲しいとの訴えがありました。
→話し合いの場で、生活態度や迷惑行為について考え、話し合いました。

○児童(男子)より小遣いを増やして欲しいとの訴えがありました。
→小遣いの現状を話し納得が得られました。

○児童の保護者より、児童のゲームソフトが無くなった。職員に話したが探してもらえなかったと子どもが知っている。高価なものなので無くなったではすまないとの訴えがありました。
→児童がゲームをした後、放置していたのを気がついた職員が保管していたもので、児童が無くなったと思いこんでいたようです。物が無くなったときには、職員と児童と一緒に探すので、なくなった訴えをそのままにしておくことはない旨を説明し、児童が自己管理できるまで、保管、取扱いの仕方を保護者と児童で話し合うよう提案しました。

讃岐学園ケアサービス案内

◆◆ショートステイ◆◆

(家庭養育支援事業)

保護者が、病気・出産・出張・事故などのために家庭で子どもを養育することが難しくなった場合、一時的にお子さんを保護し、養育します。

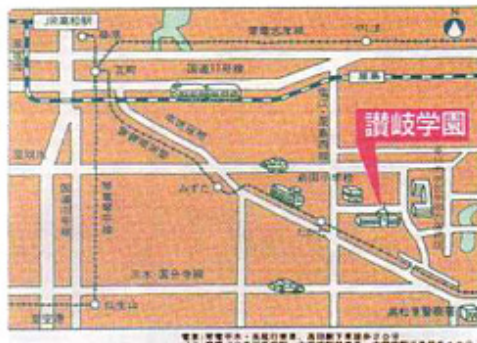


◆◆トワイライトステイ◆◆

(父子家庭等児童夜間養護事業)

父子家庭等で、お父さんが仕事のためにいつも帰宅が遅く子どもを養育するのが難しい場合、お仕事が終わるまでお子さんをお預かりし、生活指導や夕食の提供を行います。

<案内図>



地域の方々が気軽に利用できるサービスを提供したいと考えています。
各サービス事業について詳しく知りたい方は、お気軽にお電話ください。

◆◆母子緊急一時保護◆◆

緊急時お母さんとお子さんを一時保護します。



◆◆子育て相談◆◆

(児童育成相談事業)

当園は子どものお世話だけでなく、保育士・心理療法士等が地域の方々からの相談に応じています。子育てに関する悩み・不安など、お気軽にご相談ください。相談は無料です。予約制になっておりますので、まずはお電話にてご連絡ください。



<連絡先>

〒761-0322

香川県高松市前田東町569-2

児童養護施設 讃岐学園

TEL(087) 847-5171

FAX(087) 847-5173

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp/>

E-mail sanu5171@bird.ocn.ne.jp

ボランティアのお願い

児童養護施設では、1歳から18歳までの子どもたちが生活しています。当園では、子どもたちと一緒に遊んだり、小・中・高校生に勉強を教えたりして下さる方を募集しています。関心のある方、子ども好きな方、ぜひご連絡ください。

編集後記

寮体制が変わり2年目を迎えました。それぞれの寮が特色を生かし、子どもたちのよりよい成長を援助し、見守っていきたくと思っています。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

～温泉水を提供しています～

当園の敷地内には温泉水が出ています。容器を持参してご自由にお持ち帰りください。無料です。詳しくは事務所まで
時間は毎日10時～16時まで



<泉質>ラドン系単純弱放射性冷鉱泉

<適応症等>

浴用：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、慢性消化器病、痔症、冷え性、疲労回復、痛風、動脈硬化症、高血圧症、慢性胆嚢炎、胆石症、慢性皮膚病、慢性婦人病など

飲用：神経痛、筋肉痛、関節痛、痛風、慢性消化器病、慢性胆嚢炎、胆石症

※なお、営業用に使用することはお断りします。